

九州大学  
先導物質化学研究所  
非常勤講師講演会

開催日時：  
H25年2月4日(月)  
午後13:00～14:30

開催場所：  
九州大学  
筑紫キャンパス  
総理工第一講義室

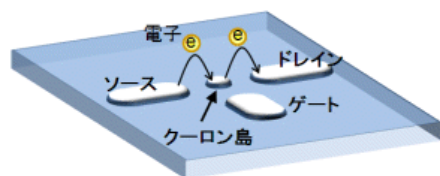


Fig. 2: SET構造の模式図

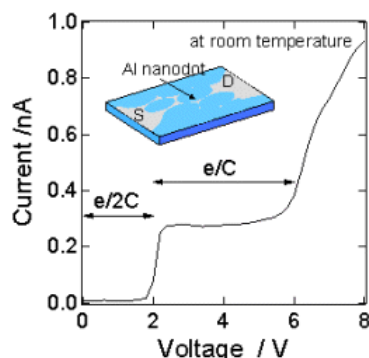


Fig. 3: Alの陽極酸化過程を利用して作製したSETのI-V特性

# 陽極酸化とそれを用いた 電子デバイスの創成

講師 木村康男准教授

東北大学  
電気通信研究所



東北大学 電気通信研究所 庭野・木村研究室では、トップダウンおよびボトムアップナノ構造体加工法を組み合わせたさまざまなデバイス開発を進めている。たとえば、陽極酸化によるAlナノドットの前製とその単電子トランジスタへの応用や、TiO<sub>2</sub>ナノチューブの色素増感太陽電池応用やガスセンサ応用などである。

電気・情報系研究所のトップダウン的発想でのデバイス開発と、化学・材料系研究所のボトムアップ的発想でのデバイス開発とは開発の視点が異なっており、その違いを知ることは研究の幅を広げる上で互いに重要と思われる。当日は共同研究拠点事業を通じた先導研との共同研究のアイデアについてもご紹介いただく。

是非奮ってご参加ください。

問い合わせ先 先導物質化学研究所（箱崎地区）  
玉田薫（092-642-2727）